



第2回学校評価アンケートの集計結果について

春分の季節、皆様方には平素からご理解ご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、1月末に実施いたしました今年度第2回目の学校評価アンケートの集計結果についてお知らせいたします。前回と同様にお子様一人につき一枚のアンケートをお願いいたしましたところ、約80%の保護者の方から貴重なご意見をいただきました。お忙しい中たくさんの保護者のみなさんにご協力いただきありがとうございました。

今回も保護者用、児童用、教職員用すべてのアンケート内容に3校（花山中・鏡山小・陵ヶ岡小）合同の小中一貫で統一した項目を加え、子どもたちの9年間の様子をみていきます。また、保護者用アンケートの自由記述欄では、前期同様、異年齢集団の児童が一緒に活動することで自分の学年以外にも友だちを作り学校生活をより楽しいものにしていくという観点から、「かがやき活動」についてお尋ねするようにしました。

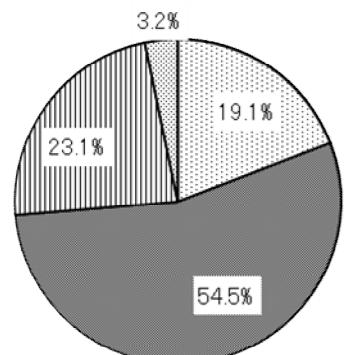
以下のアンケート結果は「出来ている」「だいたい出来ている」の合計の割合で分析しました。

保護者アンケート から

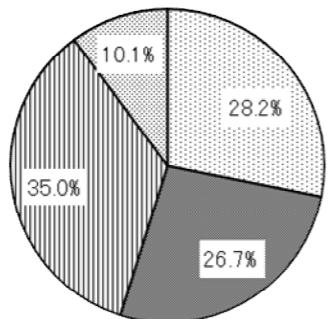
特に今回は前期と比べて比較的増加した項目と減少した項目について取り上げてみました。前回より増加した項目は、「お子さんは、自分や友だち、家族や周囲の人を大切にしていますか」「お子さんは、物を大切にしていますか」「お子さんは、家の役割（お手伝い）をすすんでしていますか」の3項目で4~8%の増加でした。

前回より減少した項目は、「お子さんは、定期的に自分からすすんで運動する時間を持つっていますか」「お子さんは、読書をしていますか」「お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活習慣を身につけ、健康を保つ努力をしていますか」「お子さんは、友だち・家族・地域の人に自分からあいさつをしたり、必要なときは、ごめんなさい・ありがとうの言葉が言えたりしますか」の4項目で4%以上の減少が見られました。特に「お子さんは、定期的に自分からすすんで運動する時間...」「お子さんは、読書を...」の項目は、できているの割合は50%台と低い割合となりました。

お子さんは、物を大切にしていますか。



お子さんは、定期的に自分からすすんで運動する時間を持つっていますか。



保護者アンケート から

「家庭での子育て」10項目について「大切にしていること」を複数回答で選んでいただきました。「子どもの話をしっかり聞いている」「子どもががんばっている姿を褒めている」の2項目は前回同様90%近い高い数値でした。また、「子どもにも家庭の役割分担をさせている」「読書の時間を設けている」については、50%以下の低い割合を示していました。

また今回も前回と同様に、「お子さんが『かがやき活動』についてお話されていること」を自由に書いていただきました。アンケートを通じて意見交流ができれば幸いです。

○自由記述

多くの保護者の方から貴重なご意見を頂きましたが、紙面の都合上、いくつかを紹介します。

保護者アンケート より抜粋 お子さんが「かがやき活動」についてお話されていることをお書きください。

- ・高学年のお兄さんやお姉さんに大切にされているなど感じます。かがやき活動もとても楽しくたくさん話してくれます。
- ・帰ってきてファイルの中の物を出しながら「今日 をやってきた。これもらったよ。」と話してくれます。
- ・かがやき活動のふりかえりを昼の校内放送で話したと楽しげに話してくれます。
- ・年上のお兄さんとお姉さんが優しい。優しくされてうれしかった等話してくれます。
- ・6年生と一緒に をして楽しかった。かがやき活動で 年生の ちゃんと仲良くなったりと話してくれます。
- ・高学年のお姉さんがけがをしているところを気遣ってくれた。
- ・かがやき活動のふりかえりで遊びの感想を言った時「良いことを言ってくれてありがとう。」と褒めてくれてうれしかった。
- ・余り話をしてこないので、こちらも聞いていないです。
- ・他学年の人と関わるので、知っていることが増えるらしく、学校外で会った時に話しかけたりしています。
- ・他学年と関わって遊ぶことはとても楽しいようです。人とのつながりができてきて良い経験をしているなど感じています。
- ・中学年になり下学年の子ども達に優しく接するよう心がけているようで、少しずつプレリーダーの自分を想像して頑張っているようです。
- ・次、自分がリーダーになることをとても楽しみにしているようです。
- ・リーダーになる日が近づいてきて下学年と休み時間に積極的に遊んだり話したりしているようで、微笑ましく思います。
- ・6年生となり下級生のことを思いやる発言がよくあり、かがやき活動を通して成長を感じます。
- ・下学年が声をかけたり、自分のことを取り合いつつ、「楽しかった」「ありがとう」と言ってくれて喜んでいます。
- ・学級会で決まらなくて帰りが遅くなったとか、誰かがおもしろい発言をしていたとか、話してくれます。



初めはスムーズに進行できなかったり行き違いになったりうまくいかないときもありました。6年生を中心にみんなで協力してグループで様々な活動をしていく中で、今ではみんなが「かがやき活動」の時間を楽しみにしています。卒業した6年生。「あこがれられるリーダー」として、本当によくがんばってくれました。6年生の様子をお手本に、次は、バトンを引き継いだ5年生がリーダーとなり、1つずつ学年が上がる4・3・2・1年生はそれぞれの役割を果たし、より一層楽しいかがやき活動になることを期待しています。今後とも励ましや様々なアドバイスをよろしくお願ひします。

児童アンケートから

後期の値は前期と同じか、やや減少傾向になりました。90%以上の項目は、「自分や友だち・家族・周囲の人を大切にしていますか」「自分から、あいさつをしたり、必要なときは、ごめんなさい...」「物を大切にしていますか」「学校のきまりを守ろうとしていますか」「先生の授業は、楽しくわかりやすいですか」の5項目でした。しかし、前期に比べて6~7%下回ったのが「授業や自主学習など、自らすすんで学ぶことができていますか」「定期的に、自分からすすんで運動する時間を持つ

っていますか」でした。2学期から3学期にかけてある様々な行事で、いろいろな力がたくさん付いたと思いますが、反面、じっくりと考えたり継続して取り組んだりするという時間が十分にとれなかったのではないかと反省します。

数値の低い項目は、「読書をしていますか」「家でお手伝いをすすんでしていますか」

「PTAや地域の行事に参加していますか」の3項目で80%を下回っていました。特に「読書を…」については、保護者アンケートと同様に前期と比べて落ち込みが見られます。

「読書マラソン」など各学年に応じた取組を進めていますが、さらに家庭と協力しながら新たな取組を展開していく必要があると考えています。また、「家でお手伝い…」「PTAや地域の行事に参加していますか」の項目については下がっています。家庭での学習やお手伝いの在り方をお話する機会を持つなど、家庭と学校が協力して取り組んでいく必要があると思います。

教職員アンケートより

大半の項目については、「だいたい出来ている」以上の回答があります。ただ、「どの子にもわかる授業展開の工夫をする」「読書」「定期的に運動」等の項目でさらに取組が必要であるとの回答が見られました。また、「家庭学習」「相互対話的な学習」に関しての項目は約90%が「だいたい出来ている」でしたが、保護者・児童アンケートの結果も鑑み、更に授業改善に取り組んでいきたいと思います。「わかりやすい授業」「楽しい授業」は教師の本分であります。より実践力を身につけるため努力してく所存です。



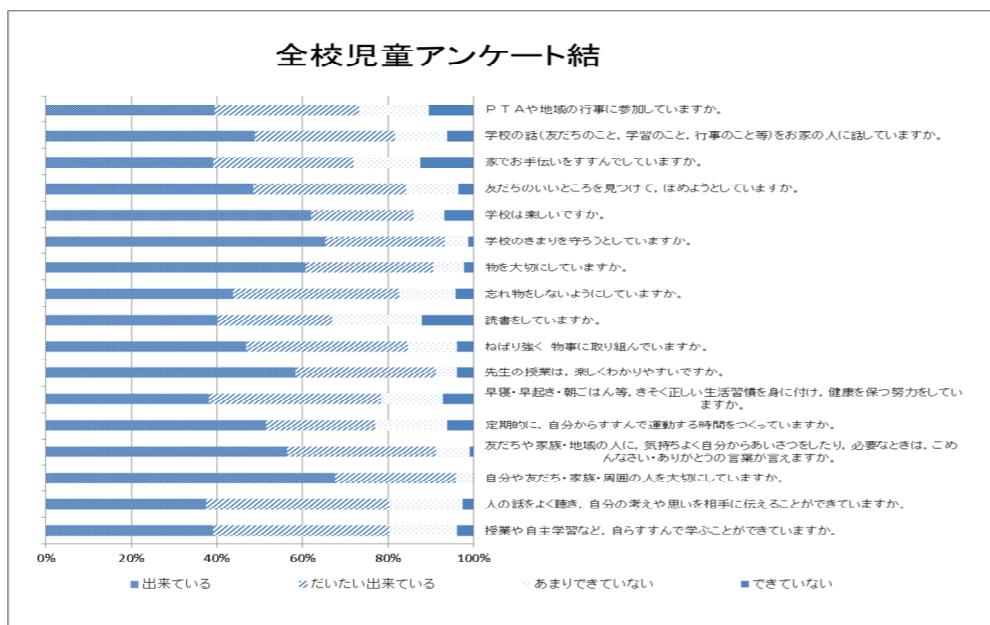
学校関係者の皆様のご意見より

3月上旬に予定していた「第3回学校運営協議会」は、新型コロナウイルス対応措置のため中止になり、学校運営協議会の皆様のご意見を会議の中で伺うことができませんでした。学校にお見えになった協議委員の方や地域の方・保護者の方から、新型コロナウイルス対応による措置による子ども達・学校・教職員を気遣う温かいお声かけをいただきました。「子ども達が楽しく安心して通える学校であるようそれぞれの立場で支えていきたい。」という励ましの言葉をいただきました。



陵ヶ岡小学校教職員一同

今回のアンケート結果や学校関係者の皆様からのご意見を真摯に受け止め、今後とも「一人一人を大切にした教育」「子どもの学力向上」の具現化に努めています。今つけておかなければならぬ力を明確にして更に取組を進め、「わくわく 笑顔 陵ヶ岡」を保護者の皆様、地域の皆様、そして、子どもたちとともに創っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



令和元年度ジョイントプログラム(後期)・フレジョイントプログラムについて

1月に行われました「ジョイントプログラム(5年生・6年生)・フレジョイントプログラム(4年生・3年生)」の結果が届きましたので簡単ですが報告いたします。今回は、3年生にとっては初めてのフレジョイントプログラムとなり4学年それぞれ4教科(国語・社会・算数・理科)にわたる調査となりました。ここではその結果の概略をお知らせいたします。

1. 国語科より

高学年は全市平均を上回る正答率でしたが中学年は少し下回りました。「場面や登場人物の様子を読みとる」や「学習した漢字の書きとり」は比較的数値が高かったですが、「ローマ字で表す」「決められた字数内で文章を書く」内容で落ち込みがありました。それに対して高学年では、「決められた字数内で文章を書く」内容も全市平均を大きく上回ることができましたが、「同じ読み方の漢字」ではつまづきがみられました。どの学年も「話す・聞く」の内容では、全市平均を大きく上回ることができました。

2. 社会科より

全学年共に全市平均と同じくらい、もしくは上回る正答率でした。自分たちで調べノートや新聞にまとめたり友だちと交流をしたりした知識を問う問題に関しては、概ね高い正答率を得ていますが、ある事象に対してまとめて表現するなど、総合的な内容を問われる問題については低い正答率の学年がありました。

3. 算数科より

算数科でも、高学年は全市平均を上回る正答率でしたが、中学年は少し下回りました。中学年では大きな数や概数、図形や文章題で正答率が低い傾向が見られました。高学年では、小数や分数を使った問題の正答率が高く、伸びがみられました。また、どの学年も基礎的計算でミスをしているところが目立ちました。また、正答率分布をみると以前に比べ若干の回復は見られますが、二極化・三極化の傾向にありました。

4. 理科より

全学年共に全市平均と同じか上回る正答率でした。実際に飼育・観察・実験したことをもとに応える問題では、正答率が高かったです。しかし、太陽や月の動きや形の変化や植物の成長条件など基本的な知識を問われる問題については若干正答率が低い場合がありました。

5. 全体を通した本校の成果と課題

今年度も「豊かなつながりの中で、一人一人が活躍し、仲間とともに高まり合う子どもの育成～集団の中で育まれた資質・能力を持続可能な力へとつなぐ実践～」という研究主題のもと、学級活動を中心に話合いを取り入れた活動を行ってきました。『かがやき活動』も子どもたちにすっかり定着し、それぞれの役割による責任を感じつつも、異年齢で過ごすことの楽しさ・おもしろさがわかり、より子どもたちの世界が広がったようです。学力面では、学年・教科により多少差がありますが、昨年度に比べて全体的に少しづつ伸びが見られました。本来陵ヶ岡の子どもたちが持っている力を様々な取組や保護者の皆様のご協力で具現化できたものと考えています。今後とも、確かな学力が身に付くよう家庭と学校が協力し合って子どもたちの学習を支えていきたいと考えています。1年間本当にありがとうございました。

令和2年度 放課後まなび教室ボランティアスタッフ募集

陵ヶ岡放課後まなび教室実行委員会

陵ヶ岡小学校では、放課後の子どもたちの「自主的な学びの場」と、「安心・安全な居場所」を充実する取組として「放課後まなび教室」を実施しています。この「放課後まなび教室」は、地域やPTA・学校などが中心となって実行委員会をつくり、地域の方々がスタッフとして運営しています。活動としては、月曜から金曜までの14:30～16:30に、宿題や自主学習をしている子どもたちを見守ってもらっています。来ていただける曜日だけで結構ですので、一緒にスタッフとして活動していただける方を募集しています。詳しくは、教頭までご連絡ください。